

# 主要事務事業戦略シート

令和2年度  
市民局  
市民局長 稲生 勝義

|                  |  |
|------------------|--|
| 局・区の使命           | 「ちばしチェンジ宣言」に基づき、これまでのオンライン化・リモート化等への取組みを更に加速し、来庁しなくていい、窓口で待たなくていいスタイルへの移行を目指します。また、市民が主役のまちづくりを推進するとともに、すべての市民が快適に生活できるよう、行政サービスの向上と安全な地域社会の形成を目指します。さらに、千葉市ならではの文化・芸術やスポーツ・レクリエーションを振興し、ゆとりと潤いを実感できる健康で文化的な市民生活の実現を目指します。 |
| 事業選択・重点化・見直しの考え方 | 施設の機能や業務の集約化等を検討し、運営の効率化と維持管理費の低減を目指すとともに、限りある財源を市民自治の推進や、男女共同参画センターにおける事業の再構築などの行政需要に集中させる。<br>重点化する分野：市民自治の推進、文化・芸術及びスポーツ・レクリエーションの振興、男女共同参画の推進<br>見直しする(予定の)事業：(仮称)千葉公園体育館の整備   |

| 施策  |    | 3-2-2          | スポーツ・レクリエーション活動の推進                                |  |   |                                     |                       |                             |                                    |          |  |         |
|-----|----|----------------|---|--|---|-------------------------------------|-----------------------|-----------------------------|------------------------------------|----------|--|---------|
| No. | 新規 | 事務事業(業務)名      | 事務事業(業務)概要  |  | 現状分析  |                                     |                       | 課題抽出                        |                                    | 今後の方向性   |  | 所管課     |
|     |    |                | 目標(目的)<br>【(事務事業(業務)を行い誰(何)が、どのような状態になることを目指すのか)】 | 主な内容<br>【サービス等の提供内容や提供先】   | 事務事業(業務)に必要な行政資源  | コスト換算<br>(単位:百万円)                   | 行政コストの合計額<br>(単位:百万円) | 主な実績・効果<br>【利用者数・件数等】       | 分析・評価<br>【現在どのような状態で、どのような課題があるのか】 | 改善・改革の手法 | 今後の方向性   |         |
| 1   |    | (仮称)千葉公園体育館の整備 | 老朽化・耐震化への対応が必要な千葉公園体育館、武道館等を千葉公園内に機能を集約し、再整備する。   | 延床面積 約8,200㎡<br>施設内容<br>メインアリーナ、サブアリーナ、武道場、トレーニング室、会議室等  | ヒ<br>ト<br>職員1.10人<br>(正規1.10人)  | モ<br>ノ<br>土地<br>中央区弁天4-1-1の一部       | 10                    | 557                         | —                                  | ③ 整理統合   | 老朽化した千葉公園体育館、武道館、千葉中央コミュニティセンター体育施設の機能を集約し、規模を拡大した形で策定された実施設計を元に、新体育館の建設を行っていく。                                | スポーツ振興課 |
|     |    |                |   |  | カ<br>ネ<br>歳出予算額547百万円<br>(うち一般財源5百万円)<br>【主なもの】<br>工事 531百万円<br>工事監理 11百万円<br>(継続費R2~4) |                                     | 547                   | 歳出決算額101百万円<br>(うち一般財源3百万円) |                                    |          | ・R元年度は、各競技者団体等からヒアリングを行い聴取した要望を可能な限り反映する形で実施設計を行った。<br>・隣接する(仮称)千葉公園ドーム工事の進捗により、供用開始が遅れる可能性がある。                |         |
| 2   |    | スポーツ施設管理運営事業   | スポーツ・レクリエーションやコミュニティ活動を通じて、健康増進及び地域コミュニティの形成を図る。  | 【提供内容】<br>市内に以下のとおり施設を設置し、スポーツ・レクリエーション、コミュニティ活動の場を提供する。<br>スポーツ施設 13か所<br>スポーツ広場 2か所<br>【提供先】<br>対象施設の利用者 | ヒ<br>ト<br>職員1.9人<br>(正規1.9人)  | モ<br>ノ<br>スポーツ施設 13か所<br>スポーツ広場 2か所 | 15                    | 1,178                       | 年間利用者数<br>1,247,252人<br>(R元年度)     | ⑧ その他    | 指定管理制度による安定的な運営のもと、管理者との連携を密にし、各施設に応じた適切な管理運営に努める。   | スポーツ振興課 |
|     |    |                |   |  | カ<br>ネ<br>歳出予算額689百万円<br>(うち一般財源 656百万円)<br>【主なもの】<br>指定管理委託料 590百万円                    |                                     | 689                   | 歳出決算額685百万円                 |                                    |          | 各スポーツ施設においては、H30年度資産の総合評価結果を踏まえた検証において、計画的保全対象や当面継続、再度評価を行う等の指針が示されている。<br>施設によっては利用度について課題ありとの見解が示されている施設がある。 |         |

# 主要事務事業戦略シート

令和2年度  
市民局  
市民局長 稲生 勝義

|                  |  |
|------------------|--|
| 局・区の使命           | 「ちばしチェンジ宣言」に基づき、これまでのオンライン化・リモート化等への取組みを更に加速し、来庁しなくていい、窓口で待たなくていいスタイルへの移行を目指します。また、市民が主役のまちづくりを推進するとともに、すべての市民が快適に生活できるよう、行政サービスの向上と安全な地域社会の形成を目指します。さらに、千葉市ならではの文化・芸術やスポーツ・レクリエーションを振興し、ゆとりと潤いを実感できる健康で文化的な市民生活の実現を目指します。 |
| 事業選択・重点化・見直しの考え方 | 施設の機能や業務の集約化等を検討し、運営の効率化と維持管理費の低減を目指すとともに、限りある財源を市民自治の推進や、男女共同参画センターにおける事業の再構築などの行政需要に集中させる。<br>重点化する分野：市民自治の推進、文化・芸術及びスポーツ・レクリエーションの振興、男女共同参画の推進<br>見直しする(予定の)事業：(仮称)千葉公園体育館の整備   |

| 施策  |    | 3-3-1     | 文化・芸術の振興  |   | 現状分析   |                   | 課題抽出                  |  | 今後の方向性   |          | 所管課  |        |
|-----|----|-----------|---|---|--|-------------------|-----------------------|--|--|----------|--|--------|
| No. | 新規 | 事務事業(業務)名 | 事務事業(業務)概要  |   | 事務事業(業務)に必要な行政資源   | コスト換算<br>(単位:百万円) | 行政コストの合計額<br>(単位:百万円) | 主な実績・効果<br>【利用者数・件数等】  | 分析・評価<br>【現在どのような状態で、どのような課題があるのか】   | 改善・改革の手法 |  | 今後の方向性 |
|     |    |           | 目標(目的)<br>【(事務事業(業務)を行い)誰(何)が、どのような状態になることを目指すのか】   | 主な内容<br>【サービス等の提供内容や提供先】                |  |                   |                       |  |  |          |  |        |
| 3   |    | 文化施設管理運営  | ・市民会館、美術館等において、文化芸術の鑑賞・活動の場を提供することで、市民の文化の向上・発展を図る。 | ・市民や文化団体等に対して、諸室の貸し出しや、公演、展示会等の事業を実施する。 | ヒト<br>職員2.50人<br>(正規2.50人)   | 22                | 1,450                 | 年間利用者数(令和元年度)<br>924,726人<br>【内訳】<br>・市民会館 381,762人<br>・文化センター 211,334人<br>・若葉文化ホール 49,139人<br>・美浜文化ホール 87,068人<br>・美術館 164,860人<br>・市民ギャラリー・いなげ 30,563人<br>※美浜文化センターは吊天井工事の影響により9月～11月までホール休館<br>美術館は改修工事のため5月～12月まで一部休館、1月～3月は全面休館<br>市民ギャラリー・いなげの別荘については耐震補強工事のため4月～翌2月まで休館 | ・市民会館など施設の老朽化や機能劣化等の状況を踏まえ、修繕や改修を計画的に進める必要があるとともに、更なる効率的・効果的な施設運営について検討を進める必要がある。<br>・将来的な人口減少などを踏まえ、これまで以上に創意工夫した内容による効果的な事業展開や財政的な負担を考慮した効率的な管理運営が求められる。 | ⑧ その他    | 指定管理制度による施設の安定的な運営や市民サービスの向上を図るため、また、各施設それぞれに要求される役割を全うするため、管理者との連携を密にし、適切な管理運営に努める。 | 文化振興課  |
|     |    |           |   |   | モノ<br>・市民会館(大ホール1001席、小ホール316席)<br>・文化センター(497席)<br>・若葉文化ホール(517席)<br>・美浜文化ホール(メインホール354席、音楽ホール152席)<br>・千葉市美術館 17,548㎡<br>・市民ギャラリー・いなげ約790㎡ | 175               | <参考><br>前年度決算額        |  |  |          |  |        |
|     |    |           |   |   | カネ<br>【歳出予算額】<br>1,253百万円<br>(うち一般財源 1,242百万円)<br>(主なもの)<br>・指定管理料 1,066百万円<br>・文化センター 29百万円   |                   | 1,253                 | 【歳出決算額 3,436百万円】<br>(うち一般財源3,407百万円)<br>(主なもの)<br>・指定管理料 812百万円<br>・美術館拡張整備 1,299百万円<br>・ツインビル負担金 127百万円   |  |          |  |        |

# 主要事務事業戦略シート

令和2年度  
市民局  
市民局長 稲生 勝義

|                  |  |
|------------------|--|
| 局・区の使命           | 「ちばしチェンジ宣言」に基づき、これまでのオンライン化・リモート化等への取組みを更に加速し、来庁しなくていい、窓口で待たなくていいスタイルへの移行を目指します。また、市民が主役のまちづくりを推進するとともに、すべての市民が快適に生活できるよう、行政サービスの向上と安全な地域社会の形成を目指します。さらに、千葉市ならではの文化・芸術やスポーツ・レクリエーションを振興し、ゆとりと潤いを実感できる健康で文化的な市民生活の実現を目指します。 |
| 事業選択・重点化・見直しの考え方 | 施設の機能や業務の集約化等を検討し、運営の効率化と維持管理費の低減を目指すとともに、限りある財源を市民自治の推進や、男女共同参画センターにおける事業の再構築などの行政需要に集中させる。<br>重点化する分野：市民自治の推進、文化・芸術及びスポーツ・レクリエーションの振興、男女共同参画の推進<br>見直しする(予定の)事業：(仮称)千葉公園体育館の整備   |

| 施策  |    | 3-5-1     | 市民参加・協働の推進  |   | 現状分析   |                   |                       | 課題抽出   |  | 今後の方向性   |  | 所管課     |
|-----|----|-----------|---|---|--|-------------------|-----------------------|--|--|----------|--|---------|
| No. | 新規 | 事務事業(業務)名 | 事務事業(業務)概要  |   | 事務事業(業務)に必要な行政資源   | コスト換算<br>(単位:百万円) | 行政コストの合計額<br>(単位:百万円) | 主な実績・効果<br>【利用者数・件数等】  | 分析・評価<br>【現在どのような状態で、どのような課題があるのか】   | 改善・改革の手法 | 今後の方向性   |         |
|     |    |           | 目標(目的)<br>【(事務事業(業務)を行い)誰(何)が、どのような状態になることを目指すのか】 | 主な内容<br>【サービス等の提供内容や提供先】  |  |                   |                       |  |  |          |  |         |
| 4   |    | 市政だより発行   | 市政だよりを発行し、市政に関する必要な事項を市民に周知する                     | 市政だよりを月1回発行し、市内各世帯に配布する。  | ヒト<br>職員8.20人<br>(本庁:6.70人(正規5.90人、会計年度0.80人)、6区計:正規1.50人) | 57                | 214                   | 令和元年度実績<br>・制作部数:約551万部(1号当たり約46万部)<br>・配布部数<br>全戸ポストイング:約484万部(1号当たり約40万部)<br>市民による直接配布:約57万部(1号当たり約5万部)                      | 平成29年度に次の見直しを行った。<br>(1)配布形態<br>新聞折り込みにより配布していたが、新聞購読率が低下していることから、到達率向上のため、10月から全戸ポストイングに変更した。<br>(2)発行方法<br>配布形態の変更に伴い、月2回発行計20ページから、月1回24ページに変更し情報量を増やした。また、より市民に親しみやすく理解しやすい紙面を目指し、デザインや構成も変更した。<br>市民アンケートの結果から、変更はおおむね好評を得ており、引き続き読みやすい市政だよりを発行できるよう注力する。 |          |  | 広報広聴課   |
| 5   |    | 行政事務委託料   | 市民への行政情報の効果的な提供等                                  | 町内自治会の連合組織である区町内自治会連絡協議会と委託契約を締結し行政情報の回覧等を依頼する。<br>・年2回(上期・下期)契約<br>・4/1現在の町内自治会加入世帯数×200円<br>・10/1現在の町内自治会加入世帯数×200円 | ヒト<br>職員0.40人<br>(本庁:0.10人+6区計:0.30人)(正規0.40人)             | 3                 | 119                   | ・回覧物発送件数<br>R01年度:25件(うち全市対象17件)<br>H30年度:20件(うち全市対象14件)<br>H29年度:21件(うち全市対象17件)   | 町内自治会加入者に対する行政情報等の効果的な周知がなされ、各種推薦及び調査等の協力も得ている。<br>近年は、紙媒体による回覧は減少傾向であるものの一定程度の需要は継続してある。<br>また、昨年は自然災害があり、回覧発送件数は増加した。しかしながら、電子情報による回覧などへの対応を要する事例もあることから、事業形態等の見直しについて検討する必要がある。   | ⑧ その他    | 各町内自治会の状況に応じた事業形態について、市町内自治会連絡協議会と協議していく。                    | 市民自治推進課 |
|     |    |           |   |   | モノ<br>-  |                   |                       | <参考><br>前年度決算額   |  | ⑥ ICT活用  | 災害時等における情報伝達の重要性が高まっていることから、町内自治会役員向けメールマガジンでの全町内自治会の登録を目指す。 |         |
|     |    |           |   |   | カネ<br>歳出予算額116百万円(一般財源116百万円)                              | 116               |                       | 自治会加入世帯数<br>R01年度末:291,392世帯<br>H30年度末:293,931世帯<br>H29年度末:296,346世帯<br>自治会加入率<br>R01年度末:64.7%<br>H30年度末:66.0%<br>H29年度末:67.3% |  |          |  |         |

# 主要事務事業戦略シート

令和2年度  
市民局  
市民局長 稲生 勝義

|                  |  |
|------------------|--|
| 局・区の使命           | 「ちばしチェンジ宣言」に基づき、これまでのオンライン化・リモート化等への取組みを更に加速し、来庁しなくていい、窓口で待たなくていいスタイルへの移行を目指します。また、市民が主役のまちづくりを推進するとともに、すべての市民が快適に生活できるよう、行政サービスの向上と安全な地域社会の形成を目指します。さらに、千葉市ならではの文化・芸術やスポーツ・レクリエーションを振興し、ゆとりと潤いを実感できる健康で文化的な市民生活の実現を目指します。 |
| 事業選択・重点化・見直しの考え方 | 施設の機能や業務の集約化等を検討し、運営の効率化と維持管理費の低減を目指すとともに、限りある財源を市民自治の推進や、男女共同参画センターにおける事業の再構築などの行政需要に集中させる。<br>重点化する分野：市民自治の推進、文化・芸術及びスポーツ・レクリエーションの振興、男女共同参画の推進<br>見直しする(予定の)事業：(仮称)千葉公園体育館の整備   |

| 施策  |    | 3-5-1              | 市民参加・協働の推進  |   | 事務事業(業務)概要       |  |                       | 現状分析  |   | 課題抽出   |        | 今後の方向性  |       | 所管課  |
|-----|----|--------------------|---|---|------------------|--|-----------------------|---|---|--|--------|---|-------|--|
| No. | 新規 | 事務事業(業務)名          | 目標(目的)<br>【(事務事業(業務)を行い)誰(何)が、どのような状態になることを目指すのか】     | 主な内容<br>【サービス等の提供内容や提供先】                  | 事務事業(業務)に必要な行政資源 | コスト換算<br>(単位:百万円)  | 行政コストの合計額<br>(単位:百万円) | 主な実績・効果<br>【利用者数・件数等】   | 分析・評価<br>【現在どのような状態で、どのような課題があるのか】  | 改善・改革の手法   | 今後の方向性 |   |       |  |
| 6   |    | コミュニティセンター管理運営     | コミュニティ活動を促進し、市民の連帯感を醸成することにより、市民主体の住みよいまちづくりを推進する。    | 市内13か所のコミュニティセンターを設置・管理し、コミュニティ活動の場を提供する。 | ヒト               | 正規職員4.83人(本庁1.65人、6区計3.18人)  | 38                    | 1,159   | <令和元年度実績><br>・年間利用者数:1,731,981人(1日平均4,824人)<br>・諸室稼働率:44.6%   | コミュニティ活動を促進するためには、新規の利用者を増加させるとともに、稼働率の低い諸室や時間帯の利用を拡大するための仕組みが必要であり、これらのことは利用者一人当たりのコスト低減にもつながる。<br>平成28年度から、施設の利用を拡大するための工夫を引き出すため、施設の稼働率を指定管理者の数値目標として設定するとともに、市外在住者、企業など使用者の範囲を追加した。<br>今後は、これらの利用者の増加に伴う公平な施設利用機会の均等を図りつつ、施設の効用を最大限発揮し、効果的な運営を行うため、更なる施設の利用促進の方策を指定管理者とともに検討していく必要がある。<br>また、施設の老朽化に伴い、施設修繕は今後増えていく傾向にあり、計画的な施設保全を行う必要がある。 | ⑧ その他  | 施設の効果的かつ効率的な管理運営及び計画的な保全を行う。                                      | 市民総務課 |  |
|     |    |                    |   |   | モノ               | 千葉市中央コミュニティセンター(ほか12施設(ほか1分室、1分館))   | 345                   | <参考><br>前年度決算額  |   |  |        |   |       |  |
|     |    |                    |   |   | カネ               | 歳出予算額776百万円(うち一般財源754百万円)<br>【主なもの】<br>指定管理料736百万円                           | 776                   | 歳出決算額870百万円(うち一般財源715百万円)   |   |  |        |   |       |  |
| 7   |    | 千葉市役所コールセンターの運用・管理 | 市民からの電話、FAX、WEBフォームによる各種制度、手続、イベント、施設等に関する問い合わせに回答する。 | 市民からの、電話、FAX、WEBフォームによる問い合わせに回答する。        | ヒト               | 職員0.7人   | 6                     | 104   | 令和元年度実績<br>・問合せ受付 約77,600件<br>・代表電話交換業務 本庁舎 約46,000件<br>区役所(6区合計) 約116,000件<br>・本庁舎窓口案内業務 約41,200件<br>・FAQアクセス件数 約128万件 | 平成29年12月にコールセンター業務をリニューアルし、以下の改善を実施した。<br>・区役所代表電話交換業務及び各所管で行っているイベント受付業務の一部をコールセンターで実施することにより、職員の手話対応時間を削減<br>・FAQサイトのスマートフォン対応及び内容改善による市民の利便性向上  | ⑧ その他  | ・引き続き転入者にチラシを配布するなど、市民への周知を図る。<br>・庁内向けに「コールセンターだより」を発行し、活用を促進する。 | 広報広聴課 |  |
|     |    |                    |   |   | モノ               |  |                       | <参考><br>前年度決算額  |   |  |        |   |       |  |
|     |    |                    |   |   | カネ               | 歳出予算額 98百万円(うち一般財源 98百万円)<br>債務負担行為(H29-H34)<br>【主なもの】<br>・コールセンター等構築・運用業務委託 | 98                    | 歳出決算額97百万円(うち一般財源 97百万円)<br>債務負担行為(H29-H34)<br>【主なもの】<br>・コールセンター等構築・運用業務委託 |   |  |        |   |       | 問合せ受付の主なサービス管理指標の達成状況<br>・コールセンターのみで利用者の疑問が解決した割合(完全完了率) 74% |

# 主要事務事業戦略シート

令和2年度  
市民局  
市民局長 稲生 勝義

|                  |  |
|------------------|--|
| 局・区の使命           | 「ちばしチェンジ宣言」に基づき、これまでのオンライン化・リモート化等への取組みを更に加速し、来庁しなくていい、窓口で待たなくていいスタイルへの移行を目指します。また、市民が主役のまちづくりを推進するとともに、すべての市民が快適に生活できるよう、行政サービスの向上と安全な地域社会の形成を目指します。さらに、千葉市ならではの文化・芸術やスポーツ・レクリエーションを振興し、ゆとりと潤いを実感できる健康で文化的な市民生活の実現を目指します。 |
| 事業選択・重点化・見直しの考え方 | 施設の機能や業務の集約化等を検討し、運営の効率化と維持管理費の低減を目指すとともに、限りある財源を市民自治の推進や、男女共同参画センターにおける事業の再構築などの行政需要に集中させる。<br>重点化する分野：市民自治の推進、文化・芸術及びスポーツ・レクリエーションの振興、男女共同参画の推進<br>見直しする(予定の)事業：(仮称)千葉公園体育館の整備   |

| 施策  |    | 3-5-2          | 男女共同参画の推進   |   |                                    |   |                       |                       |  |   |        |         |  |
|-----|----|----------------|---|---|------------------------------------|---|-----------------------|-----------------------|--|---|--------|---------|--|
| No. | 新規 | 事務事業(業務)名      | 事務事業(業務)概要  |   | 現状分析                               |   |                       | 課題抽出                  |  | 今後の方向性  |        | 所管課     |  |
|     |    |                | 目標(目的)<br>【(事務事業(業務)を行い)誰(何)が、どのような状態になることを目指すのか】                     | 主な内容<br>【サービス等の提供内容や提供先】  | 事務事業(業務)に必要な行政資源                   | コスト換算<br>(単位:百万円)                                       | 行政コストの合計額<br>(単位:百万円) | 主な実績・効果<br>【利用者数・件数等】 | 分析・評価<br>【現在どのような状態で、どのような課題があるのか】                       | 改善・改革の手法  | 今後の方向性 |         |  |
| 8   |    | 男女共同参画センター管理運営 | 市民、市民団体等が行う男女共同参画に関する自主的な活動を支援するとともに、各種講座、講演等を実施することにより、男女共同参画が推進される。 | 男女共同参画社会形成のための活動拠点として、男女共同参画推進に資する市民の活動や学習を支援するため、次の事業を実施。<br>・調査・研究<br>・情報収集・提供<br>・各種相談<br>・各種講座・イベント<br>・団体等との交流・ネットワーク支援等 | ヒ<br>ト<br><br>モ<br>ノ<br><br>カ<br>ネ | 職員0.80人<br>(正規0.80人)                                    | 7                     | 313                   | ・年間利用者数 55,626人<br>・平均稼働率 24.58%<br>・講座数 55講座<br>(令和元年度) | 「ソフト事業の充実・強化」として、これまで出前講座として学校・地域・企業で実施していた研修・講座を充実するとともに開催場所を工夫するなど、男女共同参画意識の一層の浸透に向けた取り組みを進める。  | ⑧ その他  | 男女共同参画課 |  |
|     |    |                |   |   |                                    | 男女共同参画センター減価償却費 169百万円(但し、ハーモニープラザ施設全体として)              | 169                   | <参考><br>前年度決算額        |  | ハーモニープラザ全体のあり方を検討した結果、男女共同参画センターは、R2年度から貸館部分を蘇我コミュニティセンターハーモニープラザ分館に移管することとなった。<br>これにより、より一層の男女共同参画推進に資する実践活動の連携・協働拠点としての機能の充実・強化を図る必要がある。 |        |         |  |
|     |    |                |   |   |                                    | 歳出予算額 137百万円(うち一般財源 137百万円)<br>【主なもの】<br>指定管理委託料 137百万円 |                       | 137                   | 歳出決算額 134百万円(うち一般財源 134百万円)<br>【主なもの】<br>指定管理委託料 134百万円  |   |        |         |  |

# 主要事務事業戦略シート

令和2年度  
市民局  
市民局長 稲生 勝義

|                  |  |
|------------------|--|
| 局・区の使命           | 「ちばしチェンジ宣言」に基づき、これまでのオンライン化・リモート化等への取組みを更に加速し、来庁しなくていい、窓口で待たなくていいスタイルへの移行を目指します。また、市民が主役のまちづくりを推進するとともに、すべての市民が快適に生活できるよう、行政サービスの向上と安全な地域社会の形成を目指します。さらに、千葉市ならではの文化・芸術やスポーツ・レクリエーションを振興し、ゆとりと潤いを実感できる健康で文化的な市民生活の実現を目指します。 |
| 事業選択・重点化・見直しの考え方 | 施設の機能や業務の集約化等を検討し、運営の効率化と維持管理費の低減を目指すとともに、限りある財源を市民自治の推進や、男女共同参画センターにおける事業の再構築などの行政需要に集中させる。<br>重点化する分野：市民自治の推進、文化・芸術及びスポーツ・レクリエーションの振興、男女共同参画の推進<br>見直しする(予定の)事業：(仮称)千葉公園体育館の整備   |

| 施策  |    | 4-1-5     | 防犯対策の推進  |  |   |                               |                       |   |   |          |  |       |   |
|-----|----|-----------|--|--|---|-------------------------------|-----------------------|---|---|----------|--|-------|---|
| No. | 新規 | 事務事業(業務)名 | 事務事業(業務)概要                                       |  | 現状分析  |                               |                       | 課題抽出  |   | 今後の方向性   |  | 所管課   |   |
|     |    |           | 目標(目的)<br>【(事務事業(業務)を行い誰(何)が、どのような状態になることを目指すのか】 | 主な内容<br>【サービス等の提供内容や提供先】   | 事務事業(業務)に必要な行政資源                            | コスト換算<br>(単位:百万円)             | 行政コストの合計額<br>(単位:百万円) | 主な実績・効果<br>【利用者数・件数等】   | 分析・評価<br>【現在どのような状態で、どのような課題があるのか】  | 改善・改革の手法 | 今後の方向性   |       |   |
| 9   |    | 防犯街灯補助金   | 市内の防犯街灯の設置灯数が増え、地域の防犯力が向上する。                     | 提供内容:町内自治会等が防犯街灯を設置する費用や、維持管理費用に補助金を交付する。<br>【電気料金への補助】90%(自治会設置分)、75%(LED化事業リース分など)<br>【設置費への補助】補助率 原則80%<br>上限額 原則51,610円<br>【修理費への補助】補助率 50、80、85%(項目により補助率、上限額が異なる。) | ヒト<br>職員 2.79人工<br>[6区 2.59人工]<br>[本課0.2人工] | 23                            | 125                   | (令和元年度実績)<br>・新規設置数 200灯<br>・市内の防犯街灯(補助)灯数 約53,000灯<br><br>(効果)<br>平成27年度と令和元年度の管理補助(電気代)を比較すると257百万円の削減となった。 | 夜間の防犯及び歩行者の安全な通行に必須である防犯街灯の維持管理のための事業であり、地域防犯力の向上に資するなど、必要性、有効性が高い。また、LED化事業により、現行の防犯効果を維持したまま、費用の低減を図った。<br><br>(課題)<br>・町内自治会等の狭間で防犯街灯が設置されない地域については、近接町内会や利用者が管理組合を作って街灯を設置・管理するという方法があるものの、地域の調整役や取りまとめ役がおらず、街灯の設置の話が進まない地域が発生している。 | ⑥ ICT活用  | 電子台帳を整備し、本庁および各区がCHAINS上から随時閲覧・編集できるようにするとともに、引き続き精度の高い情報反映に努める。 | 地域安全課 |   |
|     |    |           |  | 提供先:町内自治会等、地区町内自治会連絡協議会  | モノ<br>カネ                                    | 歳出予算額 102百万円<br>(一般財源 102百万円) | 102                   |   |   | 113      | ⑧ その他  |       | ・町内自治会等の狭間において、地域の調整役や取りまとめ役がおらず、防犯街灯の設置が進まない地域にあっては、複数の町内自治会の集合組織である「地区町内自治会連絡協議会」も補助対象とする要綱改正(令和2年4月1日)を行ったため、制度の周知が必要。 |
|     |    |           |  |  |   |                               |                       |   |   |          |  |       |   |

# 主要事務事業戦略シート

令和2年度  
市民局  
市民局長 稲生 勝義

|                  |  |
|------------------|--|
| 局・区の使命           | 「ちばしチェンジ宣言」に基づき、これまでのオンライン化・リモート化等への取組みを更に加速し、来庁しなくていい、窓口で待たなくていいスタイルへの移行を目指します。また、市民が主役のまちづくりを推進するとともに、すべての市民が快適に生活できるよう、行政サービスの向上と安全な地域社会の形成を目指します。さらに、千葉市ならではの文化・芸術やスポーツ・レクリエーションを振興し、ゆとりと潤いを実感できる健康で文化的な市民生活の実現を目指します。 |
| 事業選択・重点化・見直しの考え方 | 施設の機能や業務の集約化等を検討し、運営の効率化と維持管理費の低減を目指すとともに、限りある財源を市民自治の推進や、男女共同参画センターにおける事業の再構築などの行政需要に集中させる。<br>重点化する分野：市民自治の推進、文化・芸術及びスポーツ・レクリエーションの振興、男女共同参画の推進<br>見直しする(予定の)事業：(仮称)千葉公園体育館の整備   |

| 施策  |    | 4-2-5                  | 生活基盤の充実   |  | 現状分析             |  |                       | 課題抽出                          |  | 今後の方向性  |            | 所管課                   |                             |  |
|-----|----|------------------------|---|--|------------------|--|-----------------------|-------------------------------|--|---|------------|-----------------------|-----------------------------|--|
| No. | 新規 | 事務事業(業務)名              | 事務事業(業務)概要  |  | 事務事業(業務)に必要な行政資源 | コスト換算<br>(単位:百万円)  | 行政コストの合計額<br>(単位:百万円) | 主な実績・効果<br>【利用者数・件数等】         | 分析・評価<br>【現在どのような状態で、どのような課題があるのか】   | 改善・改革の手法  | 今後の方向性     |                       |                             |  |
|     |    |                        | 目標(目的)<br>【(事務事業(業務)を行い)誰(何)が、どのような状態になることを目指すのか】 | 主な内容<br>【サービス等の提供内容や提供先】   |                  |  |                       |                               |  |   |            |                       |                             |  |
| 10  |    | 市民総合窓口課等における住基・戸籍等窓口業務 | 市民等に住民基本台帳法、戸籍法等のサービスが円滑に提供される。                   | <p>【サービス等の提供内容】<br/>・出生届、婚姻届、転入届、転出届等の受理及び戸籍・住民票等への記載・戸籍証明、住民票の写し、印鑑登録証明等の発行</p> <p>【サービス等の提供先】<br/>市民総合窓口課、市民センター、連絡所の利用者</p> | ヒト               | 職員計 278.6人工<br>正規 110.5人工<br>会計年度任用職員 121.6人工<br>(うち、カード事務補助 79.5)<br>人材派遣 44.5人工          | 1,345                 | 2,898                         | <p>1 委託化による人的コスト削減効果</p> <p>(1)正規職員 16百万円削減<br/>(2)人材派遣 114百万円削減<br/>(3)委託化 129百万円増加<br/>(4)効果(1)+(2)+(3) 百万円削減</p> <p>※ 会計年度任用職員の増は、臨時交付窓口の開設に伴う一時的な増員であるため比較の対象外とする。</p> | <p>【現在の状況】<br/>公共サービス改革基本方針に基づき、委託が可能とされている業務に人材派遣や業務委託を活用し、安定的な人員確保を実現させてきた。<br/>なお、派遣期間には法律上の制約(3年)があり、区政事務センター業務の継続性に課題があったため、令和元年10月の派遣契約期間満了に併せて、システム入力及び郵送請求等のバックヤード業務について、委託化を実施した。</p> <p>【課題】<br/>市民総合窓口課業務についても、人材派遣を活用していることから同様の課題があるため、対象業務の拡大と合わせて、業務委託化を検討する必要がある。</p> | ④ アウトソーシング | アウトソーシング対象業務の拡充を検討する。 | 区政推進課<br>区総合窓口課<br>区政事務センター |  |
|     |    |                        |   |  | モノ               |  |                       | <参考><br>前年度決算額                |  |   |            | ⑥ ICT活用               |                             | 手続のオンライン化を進めるとともに、本人確認が必要となるマイナンバーカードの普及を促進する。 |
|     |    |                        |   |  | カネ               | <p>【歳出予算額】<br/>2,009百万円<br/>(うち一般財源401百万円)</p> <p>【歳入予算額(戸籍住民基本台帳等手数料など)】<br/>1,608百万円</p> | 1,553                 | 歳出決算額928百万円<br>(うち一般財源426百万円) |  |   |            |                       |                             |  |